

熊本市の下水道事業(概要と課題)

- ・熊本市の下水道施設では老朽化が進行しており、標準耐用年数を経過する処理施設や管路施設が存在する。
- ・下水道施設の老朽化に伴い、改築経費や維持管理経費の増大が見込まれるが財源(予算)は限られている。
- ・下水道事業では知識、経験を有する技術職員の退職等により、技術の継承や技術力確保、人員配置が課題となる。

下水道管路施設

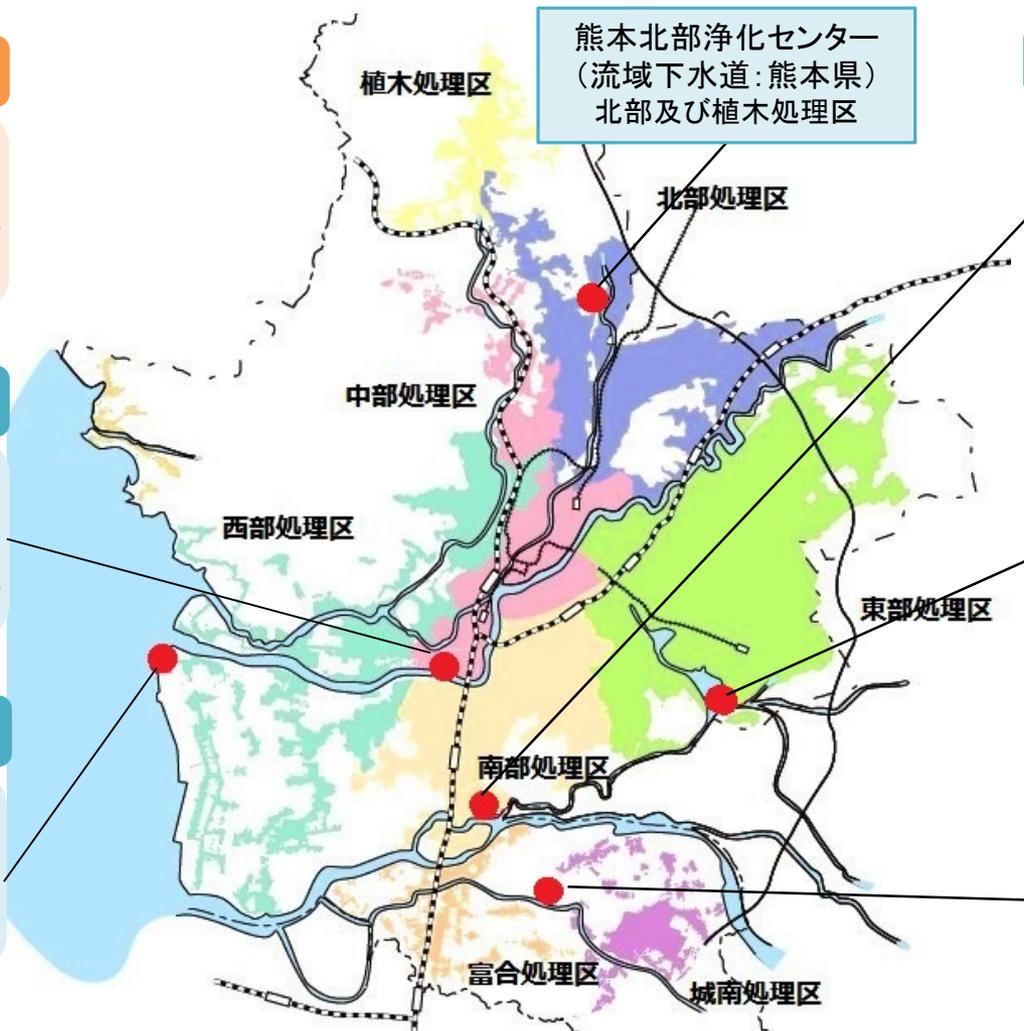
- 【管渠延長】 2,566 km
- 【建設】 熊本市
- 【維持管理】 直営(一部委託)

中部浄化センター

- 【処理能力】 64,800 m³/日
- 【供用開始】 昭和43年1月
- 【建設】 熊本市
- 【維持管理】 直営(一部委託)

西部浄化センター

- 【処理能力】 23,600 m³/日
- 【供用開始】 平成14年3月
- 【建設】 熊本市
- 【維持管理】 包括的民間委託



熊本北部浄化センター
(流域下水道:熊本県)
北部及び植木処理区

南部浄化センター

- 【処理能力】 52,600 m³/日
- 【供用開始】 昭和62年4月
- 【建設】 熊本市
- 【維持管理】 包括的民間委託
- 【燃料化施設】 DBO

東部浄化センター

- 【処理能力】 138,300 m³/日
- 【供用開始】 昭和47年12月
- 【建設】 熊本市
- 【維持管理】 包括的民間委託

城南町浄化センター

- 【処理能力】 4,700 m³/日
- 【供用開始】 平成10年12月
- 【建設】 日本下水道事業団
(増設・改築:熊本市)
- 【維持管理】 民間委託
(性能発注:単年度)

※ 処理能力は現有処理能力
※ 富合処理区は宇土市へ圧送